

異邦人 (1968)

LO STRANIERO
THE STRANGER [米]

メディア 映画
ジャンル ドラマ アート 文芸
製作国 イタリア／フランス／アルジェリア
色彩 Color
時間 104分
初公開日 1968/09/21
公開情報 P A R
映倫 G
リバイバル 2021/03/05 [ジェットリンク] (デジタル復元版)

【解説】

母の死も、恋人の存在も、全てが皆虚しいと感じている平凡な男ムルソー。彼は“太陽がまぶしかったから”という理由で人を撃ち殺してしまう。やがて死刑の宣告を受けた時、ムルソーは初めて自由を、自分の存在を感じとった……。カミュの実存主義文学をヴィスコンティが映画化した野心作。難解ともされる原作を、映画文法によって噛み砕きフィルムに定着させる脚本・演出は、ともすれば原作に引き摺られるまま映画としての体を成さなくなるものであるが、このヴィスコンティの“解りやすさ”は、事例としてかなり貴重だ。

【クレジット】

監督	ルキノ・ヴィスコンティ	Luchino Visconti	
製作	ディノ・デ・ラウレンティス	Dino De Laurentiis	
	ピエトロ・ノタリアンニ	Pietro Notarianni	
原作	アルベール・カミュ	Albert Camus	
脚本	スーゾ・チェッキ・ダミーコ	Suso Cecchi d'Amico	
	エマニュエル・ロブレ	Emmanuel Roblès	
	ジョルジュ・コンション	Georges Conchon	
撮影	ジュゼッペ・ロトゥンノ	Giuseppe Rotunno	
編集	ルッジェロ・マストロヤンニ	Ruggero Mastroianni	
音楽	ピエロ・ピッチオーニ	Piero Piccioni	
出演	マルチェロ・マストロヤンニ	Marcello Mastroianni	ムルソー
	アンナ・カリーナ	Anna Karina	マリー
	ベルナルド・ブリエ	Bernard Blier	弁護士
	ブルーノ・クレメル	Bruno Cremer	司祭
	ジョルジュ・ジェレ	Georges Geret	レイモン
	アルフレ・アダン	Alfred Adam	
	ジャン＝ピエール・ゾラ	Jean-Pierre Zola	
	ジャック・エルラン	Jacques Herlin	
	ミンモ・パルマーラ	Mimmo Palmara	
	ジャック・モノー	Jacques Monod	